

主な意見・提言と回答

ご意見・ご質問	所管の委員会	回答
避難所の体制について 各地のコミュニティセンターが避難所として指定されているが、避難者が多くなると物資の準備が必要になるが、どのような体制になっているのか。 物資の準備はされているのか、食糧備蓄はどれくらいあるのか。	総務常任委員会	【日頃からの「備え」について】 「避難」とは、「難」を「避」けること（危険な場所から安全な場所へ逃げること）です。 災害対応については、日頃から災害時にとるべき避難行動を確認しておき、「早めの避難」を意識し、「自らの命は自らが守る」ことを心がけていただくことが大切です。 災害時に自主避難をする場合には、食糧等は各自で持参されるようお願いしています。 また、家庭及び企業に対し、災害時用の備蓄品として３日分程度の食糧・飲料水等の備蓄を推奨しています。 特に、飲食物や排せつ対策としての携帯トイレなど生活する上で欠かせないものや生理用品・紙おむつ、持病の薬などの個人で必要となるものなどを「自助」の取組として十分に確保してください。 【指定避難所の物資整備、運営体制について】 指定避難所のうち、まちづくり推進センターやサンメッセ鳥栖等には、避難時に使用するためのパーテーションや防災マット、発熱者が出た場合のテントや簡易ベッドを整備しています。 また、大規模災害により避難生活が長期に及ぶ場合は、地域住民（避難者）が主体となった避難所運営体制の確立を図ります。 【大規模災害時の食糧物資等の調達について】 市では、大規模災害で日用品の調達が困難になった場合を想定し、生理用品や紙おむつ、携帯トイレの備蓄を段階的に増やしている状況です。

主な意見・提言と回答

		その他、避難生活に必要な食糧や水、トイレトペーパーやゴミ袋などの物資、仮設トイレや発電機等の資機材等について、民間企業等と協定を締結し、災害時には提供を受けることとしています。 食糧については、「県・市の物資に関する連携備蓄体制整備要領」に基準に基づき、人口の５％の１日分を目途に計画的に備蓄することとしています。
リサイクル施設周辺の地下水について 新設のリサイクル施設では井戸水を掘るとのことだが、地下水に悪影響が出る恐れがあるので上水道を引いて欲しい。水道をポンプアップすれば、水は山浦全域に行き渡り、給水困難区域に行き渡る。地下水汚染のこともあるので立石区としても市に要望しているところである。ちなみに今の施設は東部水道企業団からの給水となっており、地下水ではありません。	総務常任委員会	佐賀県東部環境施設組合が整備する次期リサイクル施設の用水は、建設地を含む周辺区域が上水道の供給区域になっていないことから、井戸水で計画されております。 周辺井戸・地下水への影響につきましては、当該組合において、住民の皆様にご協力をお願いしながら、現状の井戸水の利用状況・水位・水質等についての調査や次期リサイクル施設での利用予定水量を連続揚水し、地下水の水位・水質変化を観測する揚水試験を行い、今後も継続的に周辺井戸のモニタリング調査を行うなど、周辺環境への影響に配慮しながら整備が進められているところです。
都市化が進められ、河川に流れ込む水量増加により水害の発生につながっているのではないかと、鳥栖市の水害対策の取組はどうか。 ・福岡県や佐賀県では地下に水を貯蔵する施設が整備されている、鳥栖市でも整備されてはどうか。 ・グラウンド近くの川、市役所横の川の中に木が生えている。鳥栖市は水害が多いと	建設経済常任委員会	地下に水を貯蔵する施設については、現在は考えておりませんが、大雨時に雨水を貯める田んぼダムを令和４年度より取組み、（現在３か所で11,798 a）雨水のコントロールを行っています。 県が管理する河川の整備は県が行い、以前より浚渫工事は進んでいますが、浸水箇所に影響する場所等の優先順位があり、工事が進んでいない川もありますので、県に浚渫の要望をしています。 農業用ため池の管理者は水利組合等となっていますので、強制することはできない状況ですが、防災のために事前に放水し、池の水位を低くしてほしいと協力要請をしています。

主な意見・提言と回答

思うが、河川の工事が進んでいるかわからない。どうなっているのか。		
高齢化等の理由で管理されてないため池、水路等があり、草刈りができていない箇所があり困っている。	建設経済常任委員会	公共水路であれば行政管理、農業用水路であれば水利権者が管理となります。 農業用水路・農業用ため池は、水利組合等での管理ではありますが、水利権者が少なくなっており、十分に管理できていないケースもあり、課題だと認識しております。課題に対して検討するよう求めてまいります。
浸水する土地の対策方法はどうか。	建設経済常任委員会	短時間に降る雨水量と川などの排水環境により浸水しています。儀徳は排水路整備も行い排水量を大きくしていますが、それでも短時間の雨水量が多いと一時的にあふれることがあります。フレスポ近くも同様に排水管を増設し、分水するなどの対策をして改善しているところです。一日も早く改善できるよう求めています。
グリーンタウンの土砂崩れにより下方にある９軒の家が心配だ。市に要望しているがどうなっているのか。	建設経済常任委員会	民地を行政が復旧するケースは難しいです。民間の土地の場合は、まずは土地所有者に復旧する責任があります。周囲に迷惑がかかるような場合に行政から是正するよう勧告することになります。行政から言っても何もしないなどのケースが起こった場合、道路に土砂が入ったら所有者へ弁償請求する可能性もあります。民地の復旧に関しては国や県の補助はあるようですが、土地所有者の負担なしで行う場合、関係者の理解を得る必要がありますが、土地所有者以外の者が自分たちの安全のために行政に改善を求めることも可能です。 ただし、多額の費用負担が予想されるため、負担金について検討をするよう求めてまいります。
市道に土砂が流れ込んで堆積しているが、土砂の撤去はどこがするのか。	建設経済常任委員会	市道の場合、道路管理者は鳥栖市となりますので、市は交通に支障を及ぼさないように努めなければならないとされています。
高齢者になったら車を手放せと子どもたちから言われるが、バスはどこから乗っていい	建設経済常任委員会	本市にはＪＲ（在来線・新幹線）や路線バス、ミニバス、タクシーなどの公共交通が運行しており、市民の生活交通手段、来訪者の移動手段として運行の維持を図っています。

主な意見・提言と回答

いのか。バスが通っているのをあまり見かけない。交通の便のいい街にしてほしい。		路線や時刻表を掲載している鳥栖市バスマップを市内の商業施設、路線バス内、病院、まちセン、フレスポなどにも設置しています。 また、市役所のデジタルサイネージでもミニバスのPRなどを実施しています。 また、これから想定される高齢者人口の増加に伴う公共交通の需要拡大、運転士不足などの公共交通環境の課題などに対して持続可能な公共交通サービスについて検討するとともに、利用者にとって利便性の高いサービスになるよう努めていきます。
乗合タクシーを実現できないか。上峰町では10人程度乗車できるハイエースを利用して実際にやっている。議員も聞きに行かれたらどうか。	建設経済常任委員会	運転免許を持っていない住民にとっては移動手段の一つと考えている。 議会では政策提案について協議検討する「政策協議会」を設けており、乗合タクシーについては検討してまいりたい。
高齢者の方も若者も中高生もどこかに行くとすれば電車を使わないといけないこともある。自転車を使うにしても、夏は暑いし熱中症とかもあり、若者もバスを使いやすいようにしていただきたい。若者はSNSを使って情報を得ている。鳥栖市にInstagramがあるかわからないが、Instagramを使ってバスの情報を流す。Instagramでもダイレクトにメッセージを送ることができるし、バスの乗車に関して連絡のやりとりができれば便利になり、若者も使いやすくなるのではないか。	建設経済常任委員会	市では、路線バスやミニバスに実際に乗ってもらう、「バスの日」イベント開催時に路線バス市内線3路線とミニバス4路線の無料運行やミニバス乗車体験会を開催し、バスの利用を促す機会を作っています。 また、路線バスが近くを走っている小学校では、西鉄バス佐賀（株）様のご協力の下、バスの乗り方教室を実施し、実際にバスの車両を使って運賃の支払い方法や車内設備等を学び、バスに親しんでもらうことでバスの利用促進を図っています。 西鉄バスから提供されている「にしてつバスナビアプリ」では、位置情報を利用して、目的地までのバスを選んだり、乗車予定のバスの現在地が確認できるなど、バスを利用しやすくなる取組が行われています。 市では、様々な内容をホームページに掲載していますが、ホームページでの周知だけではなく、SNS等も活用しながら発信を促してまいります。

主な意見・提言と回答

水泳授業の民間委託について ・ベストスイミングクラブ鳥栖での授業はなぜ若葉小学校だけなのか。効果検証はしているのか。 ・水泳授業民間委託について、ゴールはどこか、既存のプールに屋根を付けるのか。この結果から市民プールが必要だということにならないのか。 ・水泳授業民間委託について、先生の指導には民間はかなわない、障害の子どもは環境変化に対応できるのか。小学校からプールを奪っているようで反対。	文教厚生常任委員会	水泳授業の民間委託については、施設の老朽化等の理由で若葉小学校において検証事業として民間委託が行われております。事業の着地点については、今後の検証結果を踏まえ検討していくこととなっております。なお、水泳授業の民間委託について、配慮の必要な小学生のお子さんへの現状の対応について、市執行部に聞き取りを行ったところ、以下のとおり回答がありました。 ・特別支援学級担任が事前に児童に対して（※数名は保護者にも）、民間施設の施設、プール、更衣室、バス等の写真を撮って、流れを説明している ・小学校から水泳授業を行う民間施設へ移動する際のバスの座席は毎回指定席にしている ・毎回の授業に関しては、通常学級の担任2名と特別支援学級担任か特別支援学級支援員1～2名が引率している ・水泳指導に関しては基本的には3コースに分かれて民間施設の指導員の方が他の児童と一緒に指導。その際、担任や支援員がプールサイドから声かけ、見守りを行っている ・特に配慮が必要な児童については、民間施設の指導員の方が1対1対応で指導を行っている ・どの学年も第1回目の時に、配慮が必要な児童に関して配慮事項を担当より民間施設の指導員の方に伝えている 当委員会としては、検証結果の報告及び皆さまのご意見、ご要望を基に、水泳授業の在り方について、議論してまいります。
学童について 鳥栖市は子育てしやすくない。学童が8時からしか開かず、7時から開くようにな	文教厚生常任委員会	現在、学童保育については、施設の拡充等に取り組んでおられます。当委員会としては、このようなご意見があることは認識しておりますので、施設の開所時間や指導員の処遇改善等については、市執行部とともに協議してまいります。

主な意見・提言と回答

らないのか。鳥栖市が保育所や学童にもつと補助をしていいのではないか。		
観光事業を考えたとき、歴史的文化はないと思っているので期待していない。交通の便が良いのだから人が集まることに力を注ぐべき。サガン鳥栖をフォローし、久光スプリングスも要素があれば力を注いではどうか。小郡市、久留米市、福岡市と連携してお客様を呼び鳥栖に宿泊してもらえる観光事業を考えてはどうか。	文教厚生常任委員会	歴史的文化については、例えば、勝尾城の整備、活用などの取組が進められています。鳥栖市は2つのプロスポーツチームの拠点であることから、ホームゲーム開催時などの集客策については、市執行部とともに協議してまいります。
買い物支援について ・社会福祉協議会から車を借りると地域の方の責任が重い、事故が起きないか。 ・免許返納するが今後の移動時タクシーを頻繁に使うわけにはいかないがどうしたらよいか。	文教厚生常任委員会	地域支え合い車両貸出事業につきましては、鳥栖市社会福祉協議会において事業実施されております。利用方法は、まず、利用の2か月前から7日前までに車両貸出申込書を社会福祉協議会に提出していただき、利用日に社会福祉協議会に車両を借りに来ていただくことになります。車両の貸し出し対象は自治会等で、貸出時間は月曜から金曜までの午前9時から午後4時までの間となっています。運行範囲は原則鳥栖市内とし、運転者は自治会等に確保をお願いしています。また、車両の賃借料及び燃料代は無料となっています。貸出時間中の事故につきましては、当該車両が加入する保険の範囲内で補償されます。 当委員会としては、本事業の制度について、より利用しやすいものとなるよう求めてまいります。免許返納については、現在、高齢者福祉乗車券がございますが、当委員会としては、タクシー等の利用拡大にもつながるよう市執行部と協議してまいります。

主な意見・提言と回答

子育て家庭への支援・連携について ・子どもの貧困問題について、鳥栖市はどんな支援をしているのか。最重要課題でないことにナンセンスを感じている。 ・不登校の問題、子どもの貧困問題、まずは現場の声を聞いてほしい。 ・子育てが終わった方々も含め、子どもを地域で育てていくことができれば、多くの課題が解決できるのではないかと感じた。 ・フリースクールや子ども食堂などの運営は厳しい、支援ができないか、いろんな団体が連携して、まずは話し合いのテーブルを作ってほしい。	文教厚生常任委員会	当委員会としては、子育て家庭への支援や連携について所管事務調査の重点テーマとして取り上げており、重要な課題と認識しております。今回頂いたご意見も参考にして、今後さらなる充実に向け、市執行部と協議してまいります。
子どもの人権・権利について ・子どもの人権について、鳥栖市はどう考えているのか。まずは現状を把握することが大事ではないか。 ・市長の子ども真ん中の施策を考えるうえで、子どもの意見を取っていない事が理解できず、全く見えてこない、子ども子育て会議の計画は机上の空論ではないか。 ・「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」という子ども4つの	文教厚生常任委員会	当委員会としては、子どもが権利の主体であることも認識し、子どもの人権や権利も含め、子ども真ん中社会の考えが、市全体で共有できるよう、市執行部へ働きかけてまいります。なお、鳥栖市議会では令和元年9月に議員提案条例「鳥栖市障害のあるなしにかかわらず、全ての子どもが安心して共に学び、共に成長するための保育及び教育の環境整備を推進する条例（通称：共に学び成長する子ども条例）」を制定しております。

主な意見・提言と回答

権利の視点から、現状を把握して、議会から政策を考えてみたらどうか。		
障害者福祉について ・鳥栖市は福祉の取組が少ないと思うので、拡充してほしい。	文教厚生常任委員会	当委員会としては、福祉の取組の現状を把握し、市民の皆さまのご意見も参考にしながら、さらなる福祉制度の拡充を市執行部に求めてまいります。
子どもの遊び場・グラウンドについて ・子どもの遊び場の情報提供について ・儀徳グラウンドは草が生えたりと整備が必要。芝へ整備した方がよいのでは。	文教厚生常任委員会	子どもの遊び場の情報提供について、市執行部に現状の取組について聞き取りを行い、以下の回答がありました。 ・問合せの際は、子育て応援情報紙「みんなで子育て」、「みんなで子育てMAP」等を用いて、年齢に応じた子どもが遊べる場所、イベント等の情報をお伝えしており、市報、ホームページ、LINEでも情報発信している旨をお伝えしている 次に、儀徳グラウンドの管理について、市執行部に聞き取りを行い、以下の回答がありました。 ・芝へ整備した場合、駐車場としての使用ができなくなることや芝育成のための養生期間中の貸止めなどが必要となり、一定の使用制限を設けることとなり、結果、現状同様の使用ができなくなるものと考えている 子どもの遊び場やグラウンドが少ないことは、当委員会としても重々認識しており、所管事務調査の重点テーマとして取り上げているところです。引き続き、遊び場やグラウンドの環境整備、拡充については、市執行部へ要望してまいります。
市民プールについて ・市民プールがなくなったことがショックだ。市民プールの変わりはないのか。 ・温水プールが早期にどうしてできないのか。年間利用できる温水プールの早期実現を。	文教厚生常任委員会	当委員会としてもこのようなご意見、ご要望が多くあることは十分認識しております。また、市民プールについては施設の老朽化により、廃止の方針が決定されました。プールの在り方については、委員の中でも様々な考えがあることから、まずは委員間での協議を重ねてまいります。なお、以前計画されていた温水プールについては、大規模災害時の防災拠点となる新庁舎の建設を優先することとなったこと

主な意見・提言と回答

・市民プールはどうなった。潰すんですよね。新たにできるとよいがどうなっているのか。 ・グラウンドはあるから同じものを作るのはどうかと思う。市民公園のグラウンドに温水プールはできなくなったのはなぜか。		から、建設にいたっておりませんが、現在、市民公園内にスポーツ施設エリアとして、温水プールについても検討されております。
スケートボード施設整備について ・プールなど鳥栖市に現在ないものを作ってほしい。スケートボードの愛好家だが、他の地域では大型のスケートボード施設を作っている。せめて場所だけでもほしい。以前、スタジアム西側広場は認められていたが、別の用途があると言われ、市内で公にできるところはなくなり、他県に行ってしまった。鳥栖市にも是非作って欲しい。 ・龍谷短期大学の跡地は利用した方がよい。スケートボードのグループの人の意見が反映されるように市議会議員に対し、具体的に場所を提案していいのでは。 ・筑後広域公園にはスケートボード場があり、利用者はそこにわざわざ行く。しかし、それを作るにはお金もかかる。スペースさえあれば広さは市役所の多目的会議室くらいあればできる。利用時間や事故のな	文教厚生常任委員会	当委員会としてもこのようなお声があることは十分認識しております。スケートボード場をはじめ、スポーツ施設については、市民の皆様のご意見やご要望をお聞きしながら、市執行部への働きかけに努めてまいります。

主な意見・提言と回答

いような対策を練るなど建設的な対応を求めたい。鳥栖市を動かそうと署名を集めたりしていたが市長も変わってしまい結局市外に自分で作った。今も鳥栖市にないのは納得できない。 ・スケートボード場は大規模施設ではなくても済む。ステップ・バイ・ステップでできるところからやればよいのでは。市民球場の隣、長崎本線の線路側にあるテニスコートは現在車椅子の方しか使っていない。3コートあるが今の利用状況なら、そのうちの一面を使うことは十分 できるのではないか。利用についての相談など自分が全面的に協力できる。300 坪くらいはある。下がコンクリートで3面のうちの一面で障害者の方用のもの。現在は人工芝を利用するテニスプレーヤーがほとんどでここを使っている人はほとんど見かけない。となりでテニスをしている方と一緒にやってみて、スケートボード利用者との併用ができるのか。試行的にやってみてはどうか。使用状況を調べる必要があると思うので調べてみてください。夏は利用者ゼロ。健康面から言えばハードコートは膝に来る。現地		
--	--	--

主な意見・提言と回答

(ミニコート)を見に行く必要があるのでは。		
体育施設の空調について ・基里体育館（鳥栖市民体育センター）にはクーラーがついていない。とても暑くてやっていられない。扇風機が3台あるが生ぬるい風で心身の健康のためにやっているのに熱中症になりかけてしまっている。今日は高齢者の声を届けに代表してきました。この体育センターは、出かける機会を与えてくれる高齢者にとって必要な場所です。これで体を鍛えているので何とかしてほしい。利用者からの熱望です。	文教厚生常任委員会	当委員会としても基里体育館（鳥栖市民体育センター）のクーラーについては、必要性を感じているところですので、市執行部に対し働きかけを行ってまいります。
サガン鳥栖U-15 練習場について ・関連する質問ですが、サッカーアンダー15の練習場ができるらしいが、サガン鳥栖は鳥栖市公式チームですか。 ・サッカーを楽しみたい子どもは他にもいるのだが、なぜアンダー15だけ施設を準備され、他のサッカーチームは自分で場所を確保しているのか。	文教厚生常任委員会	鳥栖市はサガン鳥栖のホームタウンであり、チームと共にまちづくりを行っています。グラウンド整備については、佐賀県の事業であり、鳥栖市はその事業に協力をしています。当委員会としては、グラウンドの使用について、市民の利用もできるよう求めています。